中国新聞 2010．3．29

新聞 (第三種郵便物認可)

eco 新時代

自転車の輪 CO_2削減スイスイ

宇部の官民ネットワーク

モニター募り 走行距離共有

二酸化炭素（CO_2）を出さず、地球温暖化を食い止める乗り物として見直されているのが自転車だ。健康維持に役立ち、家計が助かるメリットも大きい。この古くて新しい移動手段をもっと利用しようと呼び掛ける動きも出ている。モニターを募り、走行距離を報告し合う宇部市での取り組みをみた。（岩崎秀史）

宇部市地球温暖化対策ネットワークの自転車モニター。計測期間が終わっても自転車通勤を続ける人が多い

「近所のコンビニへも車で出掛けていた『軟弱者』の私が、自転車通勤を続けられました」。宇部市川上の会社員、吉永竜男さん(32)は照れ笑いを見せた。

昨年8月からマイカー通勤をやめ、片道6キロを自転車で通う。上司に勧められ、行政や企業、市民でつくる市地球温暖化対策ネットワークのモニターに応募したのがきっかけ。腹回りの肉付きが気になりだしていた。

初めの2カ月は苦痛ばかりだったが、慣れると季節の移ろいを楽しむ余裕が生まれ、ふらっと寄り道をすることも。毎月の走行距離は80～130キロ。体重が1キロ減り、会社の保健師から「体が引き締まりましたね」と言われた。

自転車に乗り始めると、朝夕の渋滞の中で車を運転するのが煩わしくなり、雨の日はバスで出社するように。「妻が『ガソリン代がかからなくなった』と喜んでいる」と吉永さん。今年2月でモニターを終えたが、今も自転車で通う。

同ネットワークは2008年度からモニターを募り、市民に自転車の利用を呼び掛ける。モニターは、走行距離を測るサイクルコンピューターを自転車に取り付け、通勤や買い物、サイクリングで走ったデータを記録。ネットワークのホームページで毎月、コメントを添えて報告し合う。

09年度は30～70歳代の市民48人が参加した。昨年8月から今年2月までの7カ月間で、地球1周を超える計5万2千キロを走った。ガソリン1リットルで10キロ走る乗用車に乗っていたとすると、5200リットルのガソリンを節約。これはCO_2に換算すると12トンの削減に相当し、約860本の杉が1年間で吸収する量を出さずにすんだ計算になるという。

「一人一人の行動が積み重なれば、かなりのCO_2を削減できる」と同ネットワーク事務局の兼久威矩さん(66)。「健康のため自転車に乗り始めたモニターが大半だが、走行距離が数値で出ると、環境や家計にも優しいと実感する人が多い」と話す。

片道11キロを自転車通勤して2年になるモニターの平野秀樹さん(61)も「体力が落ちず、老け込まないのがいい。自転車は環境に負荷をかけない手軽な乗り物だと再認識した」と満足そうだ。

モニターたちには新たな発見もあった。同ネットワークが3月中旬、市内で開いたモニターの体験報告会では「路側帯が狭いなど安全に走れない道路がある」「ウインカーを曲がる直前に出す車や、歩行者のそばを高速で走り抜ける自転車など、マナーの悪さが目立つ」と指摘が相次いだ。自転車をエコ社会に根付かせるため、同ネットワークは道路改修やマナー改善などを行政や市民に働き掛けていく考えだ。

桜だより

- 島桜☆日帰り「お花見クルーズ」好評
- 咲き始め 五分咲き
- 〃 〃
- 〃 〃
- 咲き始め
- 〃 〃
- 〃 〃
- 咲き始め
- 咲き始め
- 咲き始め